

ろ

戦闘詳報

明治三十五年九月
於東京

歩兵第二十五聯隊



禁

10

0690

枝隊戦闘詳報

明治三十七年五月二十日

五月二十四日午後七時十五分於宮平河川渡成旅團長より支隊司令
今及訓令を以て

渡成旅團命令

五月二十日

一 敵一部は寛田附近にて松本大隊の守備を襲撃す

此隊は渡陽原に於て襲撃を喰ひ

西島大隊の歩兵一大隊、砲兵一中隊を以て二十三日は連成を發し香

爐を構へしより松本大隊を合し寛田附近に敵を駆逐し

捕獲し其後攻撃を援助スル等

二 旅團は二十日頃賽馬集附近に敵を攻撃せしむ

三 前衛は二十日午前六時頃發し南山以西溝を経て賽馬

集の西に前進し特に林街道を搜索す

四本隊ニテ六十日午前ノ大陣四十分迄ヲ發ス可シ

五本隊ニテ六十日ノ辰ノ半午前ノ陣行ノ集合ニテ六十日午前ノ

時ガ發先ニ官馬溝村近ノ敵ヲ攻撃シテ後隊本隊

ニ對シテ攻撃スルヲ勉ムルコト

六宇河ノ附近守備隊ニテ百捕獲スルノ宇河ノ附近ノ要地ヲ占

ム官馬溝及ニ建山ノ對シテ敵ヲ攻撃スルコト

七鳳凰城守備隊ノ少數ノ兵ヲ以テ現在ノ陣線ヲ攻撃スル

大軍隊ヲ以テ鳳凰城ヲ守備スルコト

八野戰病院ニ鳳凰城合營ノ病院ニナルコト

九右近衛大行寺ノ請隊ガ發後鳳凰城北方畑地ノ集合

シハ時ニテ分ガ發スルコト

十右近衛隊ノ屬スル糧食半隊列ニテ午ガ發スルコト

十一本隊先頭ニテ行進ス

混成旅團長少将五見尚文

軍隊区分

右衛門

前衛

司令官支那中佐

歩兵第十二聯隊第一大隊

騎兵大隊本部及第一中隊(又七分隊)

砲兵大隊本部及第二中隊

本隊 先行軍序列

騎兵一中隊

歩兵第十二聯隊第三大隊

歩兵第十二聯隊第二大隊(又第一中隊)

衛生隊本部

第一糧食隊列

0694

12

鳳凰城守備隊 司令 三原少佐

歩兵第三上中隊 第三大隊

野砲一小隊

工兵一小隊

第三野戰病院

九挺隊

司令官 高田中佐

歩兵第三上中隊 第三大隊 (中隊也)

歩兵第三上中隊 第八中隊

騎兵第二中隊 (下中隊也)

砲兵第二中隊 (下中隊也)

第一糧食班 四分一

当河附近守備隊 司令官 今田少佐

歩兵第三上中隊 第一大隊

長成隊長長少將三見尚文

十月二十五日午前七時十分長成隊長より電報ヲ受領ス

并前哨隊運動ノ爲メ偵察官桂野ニ使ス

十月二十六日午前十時頃隊長副官鶴見中尉到着ス

同日正午時頃鳳凰城より消息ハタル事上中隊及歩砲兵

彈藥到着者又領ス

十月二十八日夜間ニ賽馬集附近ニ敵ヲ攻撃スルニ又枝隊(右隊)ノ先ニ

前進スルニ及敵ノ真撃隊ニ卷ク事ニ目録ヨリテ命令及訓令

ヲ下ス

枝隊命令

十月二十六日
午後八時
於賽馬日本館

一隊ノ一部ハ寬甸附近ニ在リ松本大隊ノ守候ヲ罷去セリ

此隊ハ驛場邊門ヨリ來ルモノ也

西島大佐ハ歩兵大隊砲兵一中隊ヲ以テ二十三日午前九

連城ヲ發シ柘木大隊ト合シ寛前附近敵ヲ駆逐シ捕
進シテ旅團ヲ援助スル等

二旅團ニ于テ八日寅時馬集附近敵ヲ攻撃ス

三旅團ニ于テ八日午時七時發先鋒前敵ヲ攻撃シ後

旅團本隊ヲ對面ニ参入セントス

四前衛ニ于テ二中隊騎兵隊三中隊(欠)六隊(安満)少佐之ヲ

指揮シテ七時發スル

其他本隊ニ于テ旅團第一中隊騎兵中隊(欠)六隊(丸山)中

隊渡邊中隊ヲ参入シ行進ス

六守河口守備隊内估々木中隊ハ午前十時三十分迄

守河口東ノ陣地ヲ占領シ後隊ヲ獲急ニ復スル

七守第一大隊騎兵隊砲兵隊守備隊ヲテラ田ノ

估々ヲ指揮シテ八日拂曉守河口附近要地ヲ占

0698

津上野原馬場方より對敵警戒スル

注意各隊は前將校行幸の極むる必要ありと指

行ハ

今日午後三時頃ハ訓令
十月二十七日午後八時

一守河守備隊二十八日朝迄守備の就き後隊を散

依り緩急相想スルハ地ラハ

二大行幸人馬二十八日以後は通達僅ヨリ糧米輸送スル

ヲ要ス

三雪裡站より通達僅ニ集り糧食百五十人ノ人吏ヲ以テ

運搬セラルヲ在通達僅ハ中尉ヲ命ジ置キタリ

十月十八日午前七時技隊の前向敵ヲ攻撃スルハ守河マテ及

午後二時五十分敵は退スル時我騎兵は敵ノ東端ニ於テ

旅軍の搜索騎兵は告急の故状ヲ交換ス依テ馬場集附近ニハ

敵兵ナキヲ確知シ當夜雙頭ノ者泊ス

四ノ千後四時本日枝隊ノ状況ヲ旅隊長ノ上申為メ鶴見中尉雙頭
ヲ出發ス

上月二十九日午前三時十分混成旅隊長ヲ右ノ命ヲ受領ス

混成旅隊長命

上月二十九日午後二時十五分
行軍手帳子ヨリ

富田中佐ニ與ル命

「旅隊」上月二十九日午前六時生發馬集ノ向テ前進マシマス

「支隊」上月二十九日午前七時生發志ノ河増ヲテ本溪湖ニ達ス

別子ノヲシテ

「支隊」上月二十九日午前六時生發志ノ河増ヲテ本溪湖ニ達ス

同時左ノ命ヲ受領ス

富田中佐ニ與ル命

「真枝隊」上月二十九日午前六時生發志ノ河増ヲテ本溪湖ニ達ス

0700

平河城由少一木葉河通ス道路及津上河通ス道
路也戦ハ數年スル

平河城ノ騎兵ハ隊ヲ附屬スル也ヨリハ隊ハ昔ヨリ、本軍ノ道中

此騎兵(其良隊)ハ明日午刻五時其地ヲ出發セリ也平河城

由ヨリハ少一隊ヲ附屬スル也、道中ハ隊ハ數年ノ間

前進ヨリハ戰ハ接シテ其陣高ク置想セリ也

手置大尉、指揮ノ騎兵中隊ハ舊馬集ノ里ニ道中

上ノ道、東方ニ又爲シ停止シ、騎兵大隊長、指揮シ

侍ヨリ也

平河城守將ノ記

上ヨリハ少一隊ヲ附屬スル也、隊ハ昔ヨリ、本軍ノ道中

此騎兵(其良隊)ハ明日午刻五時其地ヲ出發セリ也平河城

由ヨリハ少一隊ヲ附屬スル也、道中ハ隊ハ數年ノ間

突撃

二名

内

一本指針の如く

軍用入札

一名

指針の如く

砲兵馬車

一騎

退却中

負傷

突撃

五名

内突撃三名 砲兵一名 砲手一名 砲手一名 砲手一名 砲手一名

射撃

山鏡彈

千四百五十發

標

五發

0706

18

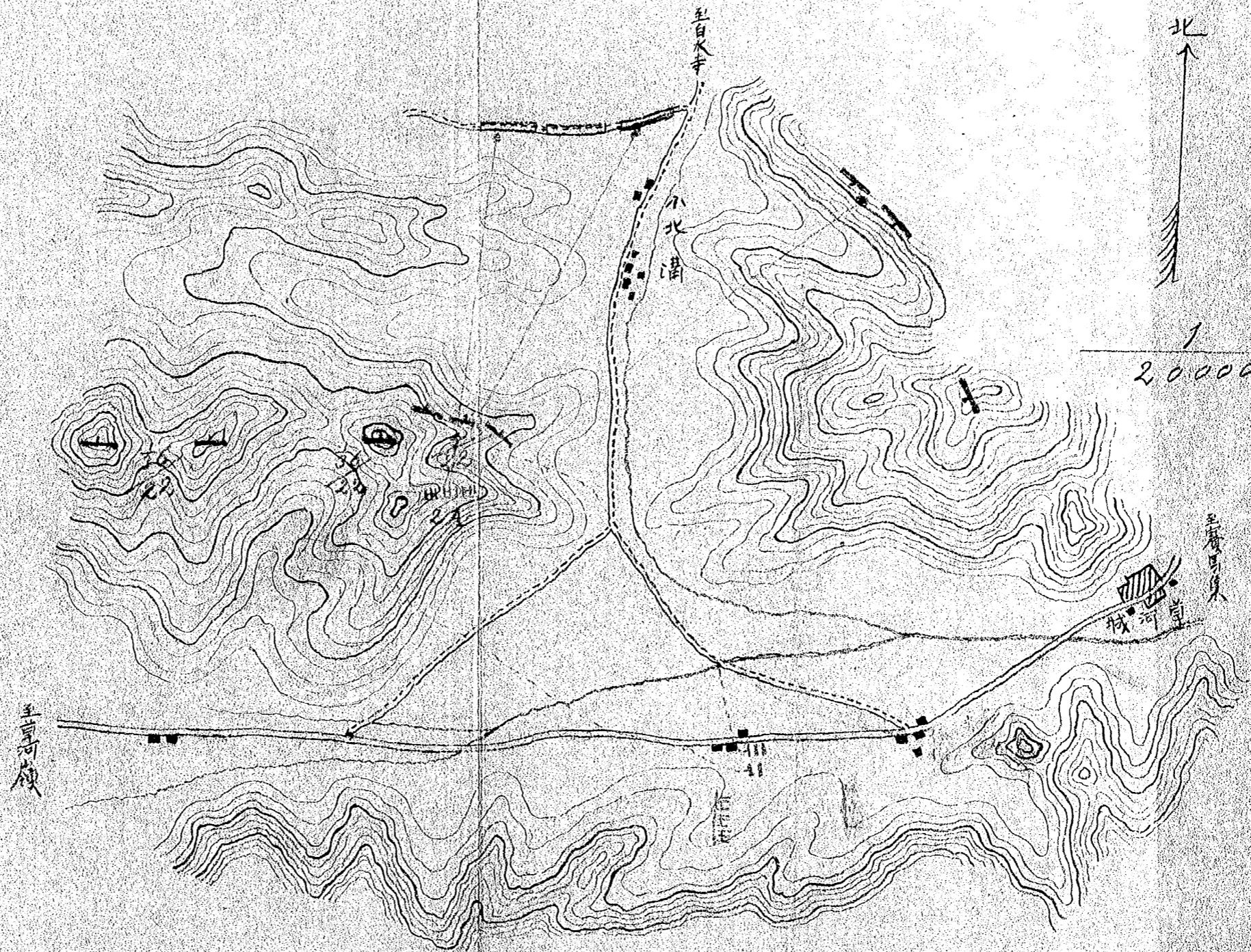
并に、世に於て徳あり
無き人こそあらず

章河城北修隊戰圖之略圖

(明治廿七年十一月二十九日午後三時位置)

▲ 散兵線
▲ 清軍

步兵第二十二聯隊



0709

0708

187